

JGC

2023年度

FY2023

決算概要



Enhancing planetary health

2024年5月14日

日揮ホールディングス株式会社

本資料の複製・転載・改変・再配布を禁止します。

ファイナンスユニット部長の田口です。
これから2023年度の決算概要についてご説明いたします。

目次

- 2023年度 実績
- 2024年度 予想
- 参考資料



最初に2023年度の実績、次に2024年度の業績予想についてご説明させていただきます。



最初に2023年度通期の実績です。

ハイライト

- 海外プロジェクトでの追加費用やリスク対応費用を見込んだことにより営業損失を計上
- 新規受注期待案件の決定時期後ろ倒しにより、受注高は一部が期ずれ

2023年度のハイライトとして2つまとめています。
総合エンジニアリング事業において、一部海外プロジェクトでの苦戦が続き、第4四半期にも追加費用の計上を行いました。また、リスク対応費用を追加で見込んだこともあり、営業損失を計上する結果となりました。
受注では、年度末に期待されていた大型案件の決定時期が次期にずれ込むなどしたことで、受注高としては伸びなやみしました。

連結損益計算書

【億円】

	FY2022	FY2023	前期比	
売上高	6,068	8,325	+2,257	+37%
売上総利益	667	106	△ 560	△ 84%
利益率	11.0%	1.3%	△ 9.7pt	
営業利益・損失	366	△ 189	△ 556	△ 152%
経常利益	505	3	△ 502	△ 99%
親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失	306	△ 78	△ 384	△ 126%
1株当たり当期純利益	122.28円	△ 32.48円		
自己資本当期純利益率	7.8%	△ 2.0%		

連結損益計算書です。

売上高は前期比37%増の8,325億円となりましたが、

売上総利益は560億円減の106億円となりました。

総合エンジニアリング事業での利益率の大幅な低下によるものです。

営業損失189億円

経常利益3億円

親会社株主に帰属する当期純損失は78億円でした。

セグメント情報

【億円】

		FY2022	FY2023	前期比	
総合エンジニアリング	売上高	5,516	7,731	+2,214	+40%
	セグメント利益・損失	334	△ 220	△ 555	△ 166%
	利益率	6.1%	△ 2.9%	△ 9.0pt	
機能材製造	売上高	477	520	+42	+9%
	セグメント利益	71	72	+1	+1%
	利益率	15.0%	13.9%	△ 1.1pt	
その他	売上高	75	74	△ 0	△ 0%
	セグメント利益	17	20	+2	+13%
	利益率	23.8%	26.9%	+3.1pt	
調整額	セグメント利益・損失	△ 56	△ 61	△ 4	-

セグメント情報です。

総合エンジニアリング事業では、大型プロジェクトの進捗が進み売上高は前期比40%増収の7,731億円となりました。

中東及び東南アジアで遂行中の石油ガス関係や化学関係の大型プロジェクトにおいて、追加費用の計上やリスク対応費用の見積により多額の損失引当を行った結果、220億円の損失となりました。

機能材製造事業では、触媒関係の販売の増加により、売上高は前期比42億円増の520億円となりました。

半導体やハードディスク関連などのファインケミカル製品の需要が回復せず、償却費負担の増加などもあり、セグメント利益は横ばいの72億円にとどまりました。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i) 受注高

【億円】

	FY2022	FY2023
海外	6,963	1,366
国内	1,276	1,572
合計	8,239	2,938

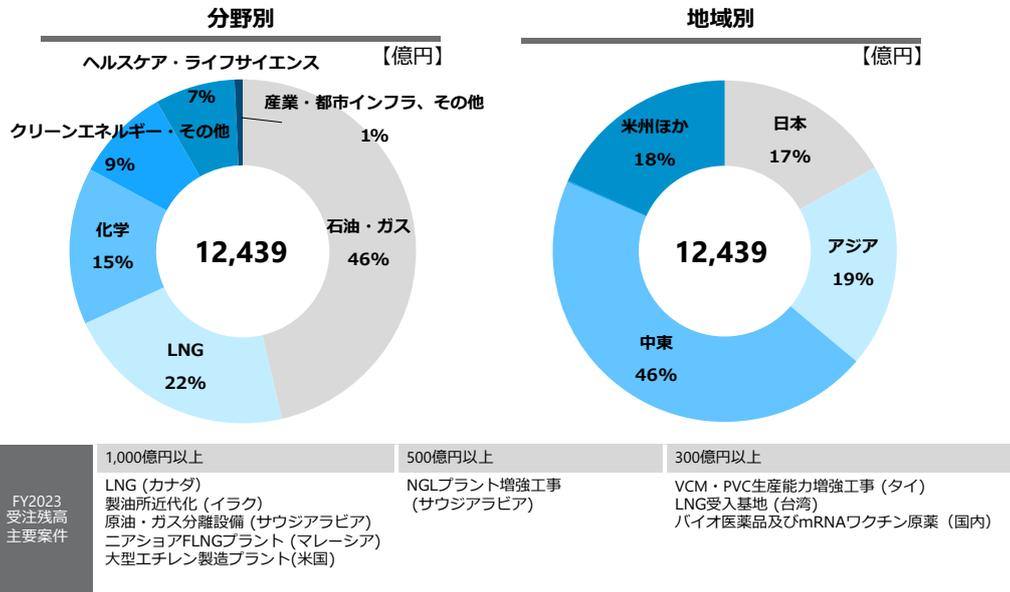
FY2023
主要受注案件

バイオ医薬品及びmRNAワクチン原薬等製造棟建設（国内）
バイオ原薬製造棟建設（国内）

総合エンジニアリング事業の受注の状況です。
受注高は全体で2,938億円となりました。
第4四半期に獲得した大型案件はありませんでした。

セグメント情報

ii) 受注残高 (2024年3月末)



受注残高は1兆2,439億円です。
 円安の影響もあり、期初から約3千億円の減少にとどまりました。
 構成比は期初からほとんど変わっていません。
 分野別では石油・ガス、LNGで約7割
 地域別では約半分が中東となっています。

連結財政状態及びキャッシュ・フロー

【億円】

	2023年3月末	2024年3月末	増減
総資産	7,131	7,922	+791
純資産	3,979	3,878	△ 100
自己資本比率	55.7%	48.7%	△ 7.0pt
JVキャッシュ 当社持分	1,717	1,481	△ 236

	FY2022	FY2023	前期比
営業 キャッシュ・フロー	1,107	110	△ 996
投資 キャッシュ・フロー	△ 114	△ 202	△ 87
財務 キャッシュ・フロー	△ 612	△ 88	+523
現金及び現金同等物の期末残高	3,327	3,245	△ 82

連結財政状態及びキャッシュ・フローです。

財政状態は、売上高の増収に伴い総資産が増加し7,922億円となりました。自己資本比率は48.7%となりました。50%を切ったのは2009年3月期以来となります。

バランスシートに計上していないジョイントベンチャーのキャッシュの当社持分は、1,481億円です。

営業キャッシュ・フローは110億円のプラスとなりました。損失を計上したにもかかわらず営業キャッシュ・フローがプラスとなったのは、まだキャッシュ・アウトしていない工事損失引当金の計上額が大きいことなどによるものです。前年同期の営業キャッシュ・フローは過去に終了したプロジェクトの係争終結に伴う債権回収などで大幅に上振れていたものです。投資キャッシュ・フローは有形固定資産取得などにより202億円のマイナス。財務キャッシュ・フローは配当金の支払などにより88億円のマイナス。期末のキャッシュは期初からほぼ横ばいの3,245億円でした。

2024年度 予想

Enhancing planetary health

次に、2024年度の業績予想についてご説明いたします。

2024年度の業績見通し

	【億円】	
	FY2023 実績	FY2024 業績予想
受注高(※)	2,938	9,700
売上高	8,325	8,300
売上総利益	106	580
利益率	1.3%	7.0%
営業利益・損失	△ 189	260
経常利益	3	340
親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失	△ 78	230
1株当たり配当金	40.0円	40.0円
換算レート(米ドル)	151.41円	145.00円

(※) 総合エンジニアリング事業

2024年度の業績見通しです。

総合エンジニアリング事業の受注高は9,700億円を見込みます。

売上高は引続き大型案件の進捗貢献があり、前期比横ばいの8,300億円

売上総利益は580億円

利益率7.0%です。

営業利益260億円

経常利益340億円

親会社株主に帰属する当期純利益は230億円です。

1株当たり配当金は、40円としております。

予想の前提とした為替レートは1米ドル145円です。

2024年度 セグメント別 業績見通し

		【億円】	
		FY2023 実績	FY2024 業績予想
総合エンジニアリング	売上高	7,731	7,700
	セグメント利益・損失	△ 220	260
	利益率	△ 2.9%	3.4%
機能材製造	売上高	520	520
	セグメント利益	72	70
	利益率	13.9%	13.5%
その他	売上高	74	80
	セグメント利益	20	20
	利益率	26.9%	25.0%
調整額	セグメント利益・損失	△ 61	△ 90

セグメント別の業績見通しについてご説明いたします。

総合エンジニアリング事業は売上高が横ばいの7,700億円

セグメント利益は260億円を見込みます。

2023年度に損失に転落し、工事損失引当金を計上した案件が数件あり、その売上高が全体の4分の1程度ある想定です。

機能材製造は半導体関連などの市況回復に不透明感があり、前期比横ばいと見えています。

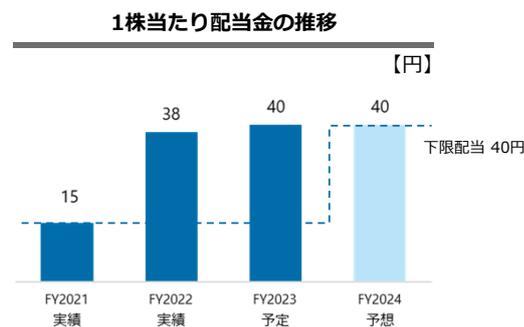
売上高520億円、セグメント利益70億円です。

株主還元方針の改訂

中期経営計画BSP2025における株主還元方針のうち、1株当たり年間配当額の下限を40円に増額いたします

(株主還元方針)

- ・ 剰余金の配当は、連結配当性向30%を目途とし、かつ、1株当たり年間配当額40円を下限とします
- ・ 自己株式取得は業績見通し及びフリー・キャッシュ・フローの状況を勘案して適宜実施を検討します



最後に株主還元方針の改訂について説明いたします。

今の方針は、中期経営計画BSP2025策定時の2021年に定めたものです。2024年3月期をもって中期経営計画施行後3年を経過したことから、足下の財政状態及び今後の業績見通し等を踏まえ、株主還元の充実の観点から見直しを行いました。その結果として、1株当たり年間配当額の下限を15円から40円に増額することといたしました。24年度の配当金予想はこの方針に基づき1株当たり40円とさせていただいております。

以上で決算概要の説明を終わります。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com